

第2回 清瀬市地域市民センター再構築検討委員会会議 会議録

1 開催日時

令和7年8月28日(木)18時30分から20時30分まで

2 場所 清瀬市役所3階 会見室

3 会議内容

(1)開会

(2)資料確認

事務局が資料確認を行った。

(3)第1回会議会議録の確定

前回会議の会議録について各委員異議なしとのことで確定した。

(4)意見交換

野塩地域市民センター、竹丘地域市民センター、下宿地域市民センターの3施設ごとに意見交換を行った。

ア 野塩地域市民センター

- ・支援が必要な家庭、見守りが必要な子どもが多い。
- ・夜間徘徊している子どもが割と多いと感じる。
- ・子どもが行きたいと思える雰囲気が必要。
- ・今の児童館は殺風景で狭く、センター全体薄暗いので入りづらい。
- ・ゲームも使用可能なルールが緩い場所があっても良いのではないかな。
- ・センターにどのような機能があって、こういうことができるという情報があると行きやすい。
- ・センターまで行くまでの道がわかりづらいので、看板があると良い。
- ・他のセンターよりも会議室の稼働率が高い。駅からも近いし、可能性がある。
- ・会議室や集会室で調理器具を持ち込んで、調理はできるのか。全室である必要はない。子ども食堂のニーズは高い。

⇒(委員)野塩地域市民センターで実際に会議室を利用して子ども食堂を実施している。和室に炊飯器を持ち込んで、おにぎりを提供することもある。また、急騰室があれば簡単な調理はできる。ガスコンロなど火気は不可。給湯器も使用しているので、お茶やコーヒーも出せる。

⇒(事務局)煙が出るのは断っている。換気扇は廊下に付いてはいるが、調理用の換気扇はない。調理器具は電圧の高い器具でなければ問題ない。

- ・子ども食堂においては、食事を食べに来るだけでなく、相手をしてくれる大人がいるから来る子どももいる。

- ・野塩に特化したものとしてボードゲーム、カードゲーム、ミニ四駆などの展示があり、遊べるようするのはどうか。下宿がスポーツに特化するとしたら、野塩は文化系の遊びが良いのではないかと。大人も遊べるように、囲碁、将棋、麻雀等もあると良い。

- ・旧図書館が 1 階で他のセンターよりも入りやすい。入ってクッションなどでそのままくつろげるエリアはどうか。それだけだと広いので、半分は学習する部屋にしてはどうか。

イ 竹丘地域市民センター

- ・野塩地域市民センター同様、入りづらい雰囲気がある。

- ・旧図書館は広いので、室内アスレチックなど体を動かすスペースが良いのではないかと。

- ・第5会議室では音が出せて演奏もできる。コンサートもやっている。同じ建物の2階なので、音を出すことは問題ないのではないかと。

- ・1階にコンサートができるような施設であるなら、2階は防音室にしてバンド練習ができる部屋も考えられるのではないかと。

- ・子どもにとらわれず、団地も高齢化しているため、高齢者もお茶飲みできるような交流できる場所が良いのではないかと。いつでも一緒ではなく、多目的に使えば良い。

- ・子ども食堂は多いエリアなので、多世代食堂(コミュニティレストラン)があると良い。平日の日中は不登校の子どもが集まり、そこへ高齢者がご飯を食べに来る。つどいの広場の利用者が遊び終わった後に、そこでご飯を食べると交流が深まる。

ウ 下宿地域市民センター

- ・スポーツができる場所として、小学生が利用できるようなボルダリング(2m程度のもの)があると良いのではないかと。

- ・スポーツだけではなく、文化の面も考えると、バンドができる部屋があっても良い。

- ・駄菓子屋等、利用料をとる施設があっても良いのではないかと。

- ・ダンススタジオがあっても良いのではないかと。

- ・台田団地も高齢化が進んでいるので、子どもも高齢者も集えるサロンがあると良い。

- ・複合的に考えて、外でスケートボードができる施設があると良いのではないかと。

- ・幅広い意見が出ているが、市として補足情報はあるか。

(事務局)

下宿地域は都市計画マスタープランの中で、内山運動公園をはじめとしたスポーツ施設が立地しており、市のスポーツ拠点として位置づけられている。一方で旧森田家

もあり、文化的な施設もあるので、委員からいただいた文化・スポーツというのは、市が考えたまちづくりに沿っているので、ご意見を具現化できる提言になると良い。

エ 全施設に関わる意見

- ・各地域市民センターで特色を出せれば、地域図書館がこう生まれ変わりましたとPRできるのではないかな。

- ・地域別の特色があると良いという意見がある一方で、ころぼっくるのような施設が各地域にあると良いという意見も多い。広さは限られるが、ある程度複合的にあるとよい。

- ・自由度があるといい。子どもは広場があるだけで遊べるので、少しエッセンスを加える。遊びを選べるように準備しておくだけで、何も無い部屋でもいい。大きな改修工事等が必要ないのでコストを抑えられる。

- ・日頃できないことができる場所があると良いのではないかな。

- ・アトリエ・バンライ(※三井住友フィナンシャルグループが社会貢献のために、支店跡地に作った施設)のような場所があると良い。協力企業や大学生を呼び込み、子どもたちに様々な体験をさせている。そのためにはコーディネーターが必要。

- ・人の配置も再構築を考えるのにも重要ではないかな。どんな人にいてもらいたいかな考える必要がある。